

平成20年度 兵庫県大学図書館協議会研究会

- 教員組織との連携による新たな教育・学習支援活動の在り方について -

大学図書館では、シラバス掲載図書や教員推薦図書の購入や利活用、あるいは図書館利用教育、資料探索指導及び情報リテラシー教育の実施など、学生の教育・学習を支援するための様々な活動を行ってきているが、それらの多くの活動は、図書館及び図書館職員という枠組みの中での活動であり、十分に機能していない部分もあったのではないか。

一方、実質的な大学全入時代といわれる今日、学生の論理的思考能力、コミュニケーション能力、あるいは文書作成・表現能力等々が著しく低下していると考えられる中、授業を担当する教員組織においては、授業評価、eラーニング、シラバスの充実、アカデミックスキル、ライティング指導などといったキーワードのもと、単位の実質化又は教育の質保証に向けた授業改善に日々努力されている。

については、現在、図書館が実施している教育・学習支援活動の実態とその問題点、授業改善への取り組みやFD活動を行っている教員組織から見た大学図書館の果たすべき役割など、図書館と教員組織との密接な連携による新たな教育・学習支援活動の在り方について意見交換を行いたい。

日時 平成21年2月17日(火) 13:00～17:00
会場 神戸大学附属図書館プレゼンテーションホール(フロンティア館3F)
受付 12:30～13:00
開会 13:00～13:05
挨拶 神戸大学附属図書館長 武田 廣

基調講演 13:05～14:40
演題 「教育の質的保証を目指す取り組みと大学図書館の可能性」
講師 三重大学 高等教育創造開発センター
准教授 長澤 多代 氏

事例報告(1) 14:40～15:10
報告 「広島大学図書館における コースリザーブ制度の試み」
発表者 広島大学図書館 図書学術情報整備
グループリーダー 叶井 貫一郎 氏

休憩 15:10～15:30

事例報告(2) 15:30～16:00
報告 「演習クラスを対象とした図書館利用教育
- 関西学院大学図書館における取り組み -」
発表者 関西学院大学図書館
利用サービス課主任 魚住 英子 氏

事例報告(3) 16:00～16:30
報告 「情報リテラシー教育支援活動」
発表者 神戸大学附属図書館 情報サービス課
情報リテラシー係員 山田 友美

質疑応答 16:30～17:00
閉会 17:00